

教科 音楽 学年 第1学年

単元名	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
オリエンテーション ●校歌 ●Sing! Sing! 歌うための準備	表現するための基礎的な技能や奏法を身に付け、曲想を感じ取って表現しよう			歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に主体的・意欲的に取り組む。
曲の特徴を生かして歌おう ●「DO-RE-MI」 ●「エーデルワイス」	強弱の変化や曲想など、音楽を構成する要素の違いを理解して、表現の仕方を工夫しよう	創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。	歌唱表現イー(イ)の知識やウー(ア)の技能を得たり生かしたりしながら歌唱表現を創意工夫する。	曲のまとまりについて興味・関心をもち、それらを生かした歌唱の表現に主体的・協動的に取り組む。
詩(ソネット)の内容と曲想との関わりを感じ取って観賞しよう ●「春」(ヴィヴァルディ作曲)	物語の進行と関係する曲想の変化を感じ取り、音楽の特徴を捉えながら聴き深めよう	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。	鑑賞に関するイー(イ)の知識を生かし、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、音楽の構造と曲想との関わりを感じ取り鑑賞している。	ソネットの内容と曲想との関わりや、音楽の特徴に関心をもち、鑑賞する学習に主体的・協動的に取り組む。
思いを込めて楽しく歌おう ●混声二部合唱 「心ひらけば」	表現するための基礎的な技能や奏法を身に付け、曲想を感じ取って表現しよう	創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声を聴きながら他者と合わせて工夫を生かして歌唱することができる。曲想と音楽の構造や歌う技能を身に付ける。歌詞の内容との関わりについて理解する。	歌唱表現に関わるイー(ア)の知識やウー(イ)の技能を得たり生かしたりしながら歌唱表現を創意工夫する。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に主体的・協動的に学習に取り組む。
曲の形式を生かして歌おう ●「夏の思い出」「赤とんぼ」	曲想と歌詞との関わりを生かして表現を工夫しよう	正しい音の高さ、リズムなどの基本的な技能を身に付け、表現の工夫を生かして歌唱することができる。曲想と音楽の構造や歌詞の内容の関わりについて理解する。	歌唱表現に関わるイー(ア)の知識やウー(イ)の技能を得たり生かしたりしながら歌唱表現を創意工夫する。	曲想や歌詞の内容との関わりに関心をもち、歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に主体的・協動的に取り組む。
歌唱表現の工夫 ●合唱コンクール曲	歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫して歌おう パートの役割を生かして合唱しよう	曲種に応じた発声により、言葉を大切にしながら歌うなどの基礎的な技能を身に付けている。曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解し、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。	音楽を形作る要素を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を甘受しながら、歌詞の内容や言葉の抑揚を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもって創意工夫する。	歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的・協動的に取り組んでいる。
アジアの音楽の魅力を求めて ●日本とアジア地域の様々な音楽	アジア地域の諸民族の音楽の音楽について、楽器や声の特徴、音楽の多様性を感じ取ろう	我が国の郷土の伝統音楽、及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。それらを鑑賞し感受したことをまとめ、自分の言葉で文章にまとめ、表現する。	鑑賞に関わるイー(ウ)の知識を得たり生かしたりしながら音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽の良さを味わって聴く。	アジア地域の諸民族の音楽の音楽について、楽器の特徴、音楽の多様性に関心をもち学習に主体的に取り組んでいる。
和楽器の音色を味わおう ●「六段の調べ」鑑賞 ●「さくらさくら」箏の演奏	箏の音色を味わいながら、楽器の特徴を生かして表現したり鑑賞したりしよう	箏の音色を奏法との関わりを理解する。創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方や縦譜の読み方などの基礎的な技能を身に付ける。	器楽表現に関わるイー(イ)の知識やウー(ア)の技能を得たり生かしたりしながら器楽表現を創意工夫する。曲の構造と曲想との関わりを感じ取り解釈したり価値を考えたりしながら箏の演奏を味わって鑑賞している。	箏の特徴や箏曲「六段の調」の構造と曲想との関わりに関心をもち、基本的な奏法で演奏したり鑑賞したりする学習に主体的・協動的に取り組んでいる。
曲想の変化を感じ取って観賞しよう ●「魔王」(シューベルト作曲)	物語の進行と関係する曲想の変化を感じ取り、音楽の特徴を捉えながら聴き深めよう	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。	鑑賞に関するイー(イ)の知識を生かし、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、音楽の構造と曲想との関わりを感じ取り鑑賞している。	詞の内容と曲想との関わりや、音楽の特徴に関心をもち、独唱曲の表現の豊かさに関心をもちながら鑑賞する学習に主体的・協動的に取り組んでいる。
言葉とリズムのかかわりを感じて言葉の特徴を捉えて表現しよう ●「くいしんぼうのラップ」	身近な言葉のリズムを感じ取り、楽譜を読めるようにしよう。言葉のもつリズムを生かして簡単なリズム曲をつくろう	言葉のリズムや反復、変化、対照などの構成、全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて音楽をつくったり演奏したりしている。	音楽の要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。構成、全体の響きを感じ取って音楽表現を工夫する。	言葉のリズムや反復、変化、対照などの構成、全体の響きに関心をもち、音楽表現を工夫しながら音楽をつくったり合わせて演奏したりする学習に主体的・協動的に取り組む。
タンギングや左手の運指を身につけて演奏しよう ●アルトリコーダー	アルトリコーダーの運指やタンギングなど、基礎的な演奏技能を身に付け、楽しく演奏しよう	リコーダーの音色や響きと奏法とのかかわりを理解し、創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な基礎的な演奏技能を身に付ける。	音楽を構成する要素を知覚し、その働きが生み出す特質や雰囲気を甘受しながら、器楽表現を創意工夫する。	リコーダーの音色や響き等双方との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協動的に器楽の学習に取り組んでいる。
音楽で気持ちを伝えよう ●卒業式歌等	歌詞や速度や強弱などの諸要素の働きが生み出す雰囲気を感知取って思いを込めて歌おう。	歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするための必要な技能を身に付けて演奏することができる。	速度や強弱などの諸要素の働きが生み出す雰囲気を感じ取りながら、どのように演奏するか、思いや意図をもって演奏している。	歌詞の内容や曲想に興味をもち、音楽表現を工夫して歌う学習に意欲的・協動的に取り組んでいる。